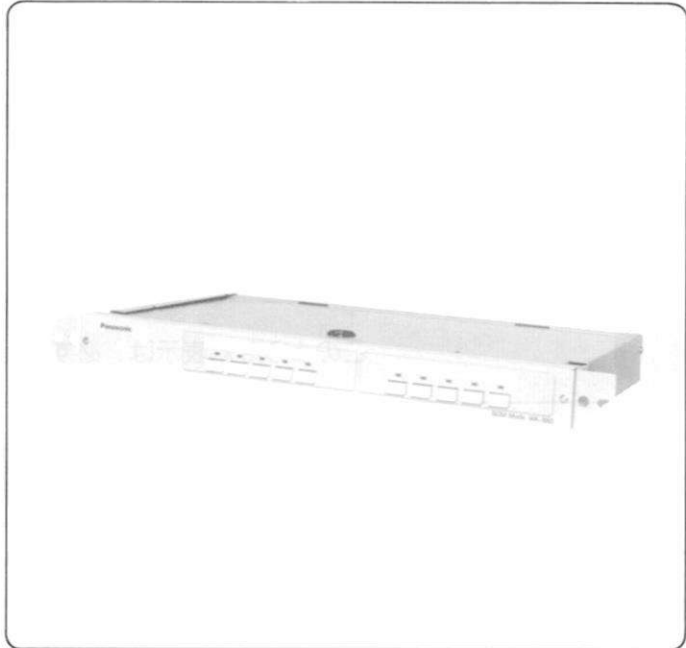


BGM放送モード選択ユニット

品番 WK-880

取扱説明書(工事説明付)

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

上手に使うって上手に節電

このたびは、パナソニック BGM放送モード選択ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

目次

- 取扱説明
 - 安全上のご注意.....2
 - 各部の名称と働き.....3
 - BGM放送モードについて.....3
 - 概要.....3
 - 動作原理.....4
- 工事説明
 - ディップスイッチの設定のしかた.....5
 - 接続のしかた.....6
 - 接続の概要.....6
 - 接続の手順.....6
 - 後面コネクタの接続のしかた.....7
 - ケーブルの接続.....8
 - WU-R51A(R52A)の端子台との接続のしかた.....9
 - 端子盤ユニットWU-Q55の接続のしかた.....10
 - 定格・付属品.....11
 - 定格.....11
 - 付属品.....11
 - 保証とアフターサービス.....裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、 改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

不安定な場所に 置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

お願い

- ご使用いただく電源電圧はDC24Vです。

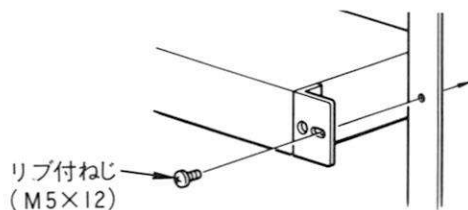
専用のケーブルで接続してください。

- 必ずラックに組み込んでください。

本ユニットは、ラックマウント専用です。

- ラックマウント時のご注意

ラックマウント時には必ず付属のリップ付ねじをご使用ください。



- 本機をご使用の際は

主となる装置の説明書を参照するなど、システムの概要・仕様を十分ご理解いただき、今一度ご確認のうえ設置してください。

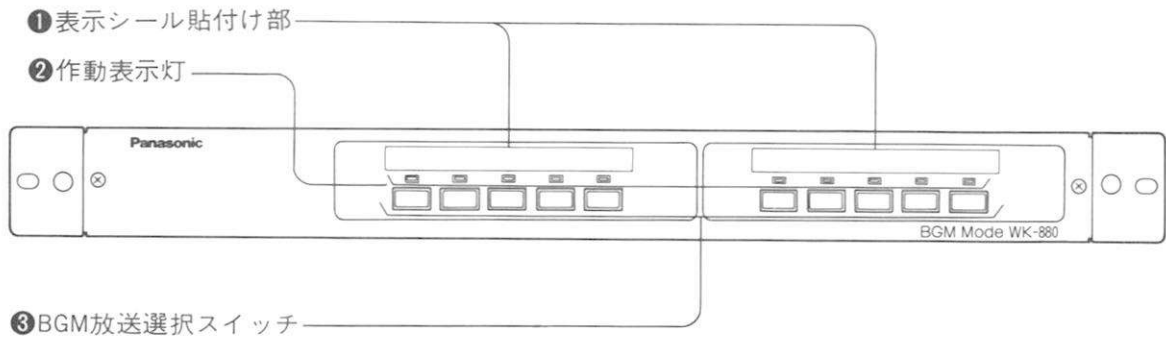
- お手入れについて

電源を切り乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。

お願い

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

各部の名称と働き



①表示シール貼付け部

表示シール(付属品)に、スピーカの設置場所やブロック指定した場所などを記入し、貼ってください。

②作動表示灯(緑色)

- BGM放送選択スイッチ③を押すと、押したスイッチの作動表示灯が点灯します。
- 非常操作ユニットの放送階選択スイッチが押された場合、対応するBGM放送選択スイッチ③の作動表示灯は消灯します。
- 防災アンプシステムが非常状態となったときは、すべて消灯します。

③BGM放送選択スイッチ(SW1~10)

- BGM放送をするときに押します。(作動表示灯②が点灯)

BGM放送が流れているときに、防災アンプシステムの放送階選択スイッチを押すと、そのスイッチに登録されているすべてのスピーカ回線が防災アンプの放送に切り換わります。

- 再度押すと復旧します。(作動表示灯②が消灯)

BGM放送モードについて

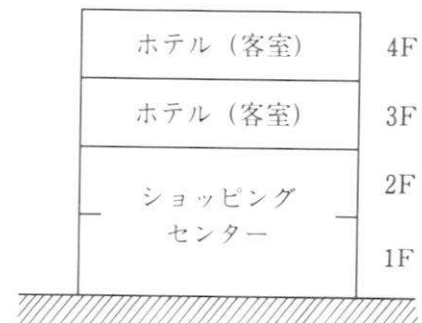
■概要

本機を使用するときは、BGM演奏装置、BGM放送専用の電力増幅ユニット、端子盤ユニットWU-Q55が別に必要です。

- 本機は防災アンプシステムWL-7000、7500、7050、7550と接続して非常操作ユニットやミキサーユニットからの業務放送とBGM放送をスピーカ回線ごとに切り換える装置です。
- 本機1台でスピーカ10回線の切り換えができます。
- BGM放送中の任意のスピーカ回線に対して、業務放送を割り込ませることができます。
- 出力制御ユニットWU-R52、R52A(20局)と本機を接続する場合は、SP1~10で1台、SP11~20で1台接続します。
- 複数の出力制御ユニットのスピーカ回線出力をまとめて本機1台に入力することはできません。
(例：出力制御ユニットのスピーカ回線出力 SP1、SP2、SP11を本機1台にまとめて入力することはできません。)

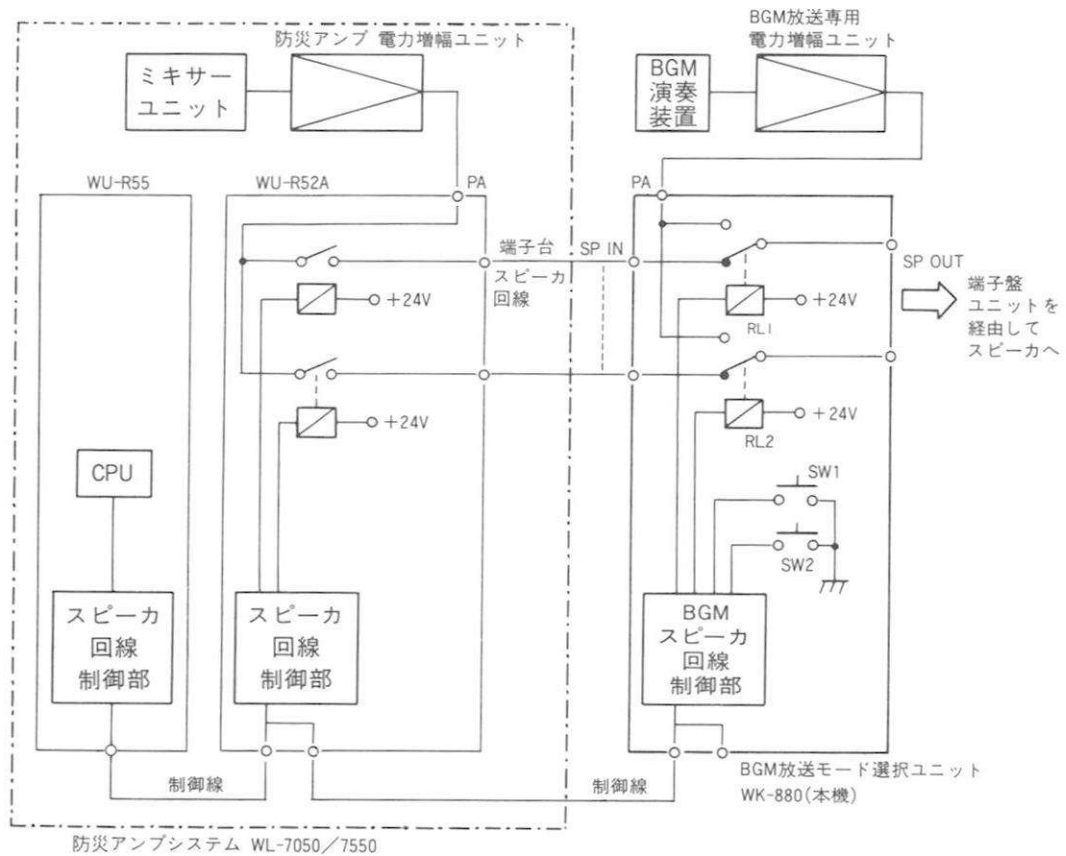
〈使用例〉

- 右図のような建物では、1~2階には案内・呼び出しなどの業務放送を、3~4階にはBGMを同時に流すことができます。(各階をいくつかの系統に分ければ、それぞれの放送系統ごとに同様の放送ができます。)
- 1~2階に業務放送を流さないときには、BGMを流すことができ、他の階のBGMを止めずに3階のみに業務放送(呼び出しなど)を行うことができます。



BGM放送モードについて

■動作原理



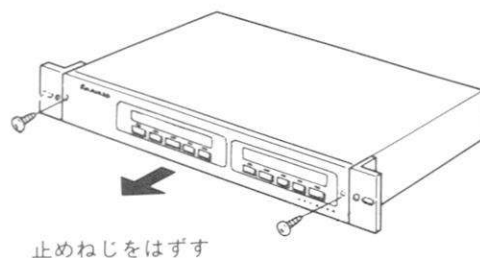
- 上記のブロックダイアグラムは、防災アンプシステムWL-7050/7550と組み合わせたものであり、実際は非常操作ユニットWK-850、電源制御ユニットWU-L60Aなどが含まれています。
- 本機のスイッチ(SW1、SW2など)を入れると、リレー(RL1、RL2など)が働いて専用アンプから出力がスピーカに流れます。
- この時、非常操作ユニットの放送階選択スイッチを入れると、制御線を介して本機のリレーを「OFF」とし、WU-R52Aのリレーを「ON」することにより、防災側の放送をスピーカから出力します。

工事説明

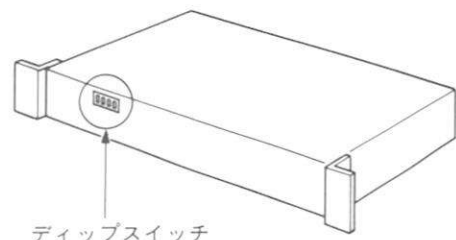
本機および各種機器の接続は、必ず販売店に依頼してください。
また、工事の場合は、必ず電源制御ユニットのブレーカと非常電源ユニットの蓄電池スイッチを「切」にしてから行ってください。

ディップスイッチの設定のしかた

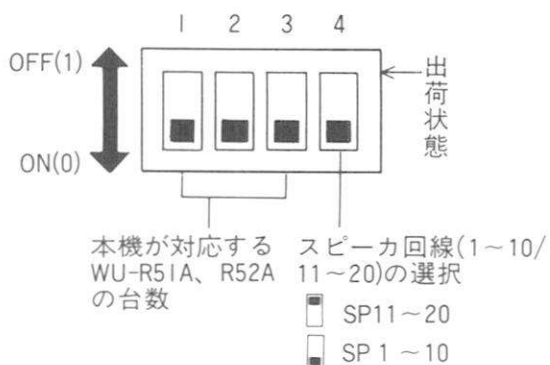
①前面パネルの止めねじを外し、前面パネルを取り外します。



②ディップスイッチを設定します。



- 本機を接続するスピーカ回線に対応する出力制御ユニットが10回線(WU-R51A)の場合は、スピーカ回線の選択はSP1～10に設定します。
- 本機1台で制御可能なスピーカ回線は10回線です。
- 複数台の出力制御ユニットのスピーカ回線をまとめて本機1台に接続することはできません。

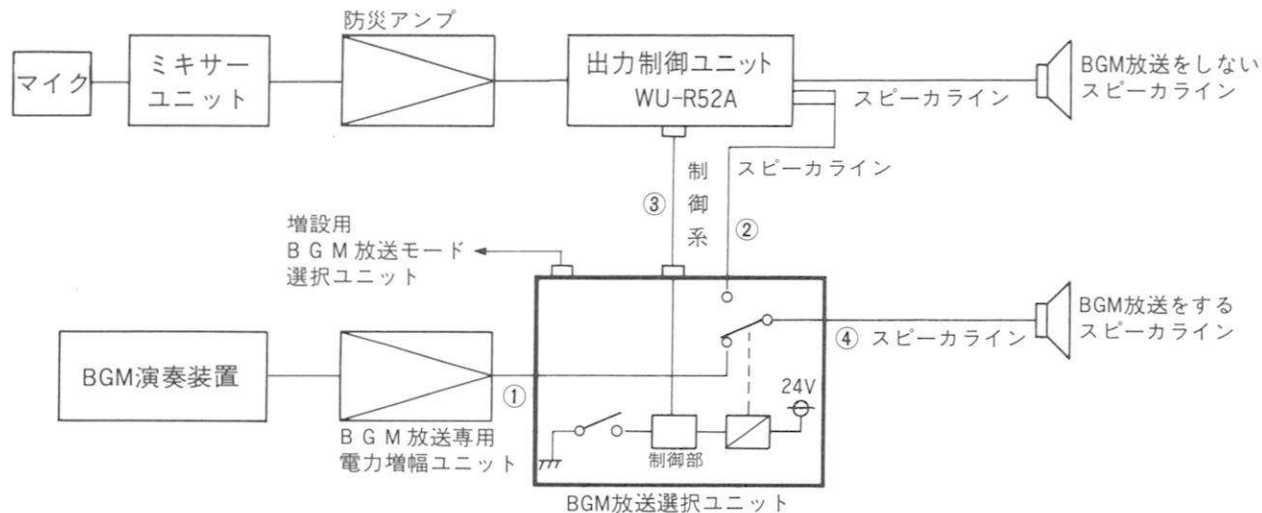


③前面パネルを元どおりに取り付けます。

| 本機が対応する WU-R51A、R52A の台数 | 制御するスピーカ回線がSP1～10の場合 | | | | 制御するスピーカ回線がSP11～20の場合 | | | | | |
|--------------------------|----------------------|---|---|---|-----------------------|-----|---|---|---|---|
| | OFF | 1 | 2 | 3 | 4 | OFF | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 2 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 3 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 4 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 5 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 6 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 7 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 8 台目 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

接続のしかた

■接続の概要



BGM放送モード選択ユニットへ接続する線は以下の4種類です。

- ①BGM専用電力増幅ユニットからの出力
- ②出力制御ユニットWU-R51A(10局)、WU-R52A(20局)からのスピーカライン
- ③制御線
- ④BGM放送と非常放送(業務放送)の兼用のスピーカライン(出力)…外部配線工事

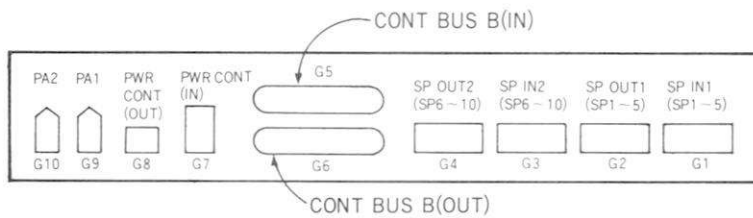
以上の信号のうち、②のスピーカラインは、N,R,C 1回線ごとに端子台に出力されています。また、③の制御線は50Pコネクタで出力されています。BGM放送をする回線は10回線ごとにまとめ、スピーカラインを接続したWU-R52Aと同じ増設ユニットの台数(アドレス)に設定する必要があります。

■接続の手順

- ①本機のPA1コネクタに、BGM放送専用電力増幅ユニットのPA OUTのケーブルを接続します。
- ②出力制御ユニットWU-R51A(10局)、WU-R52A(20局)の前面端子台にSP IN(16芯-先バラ)ケーブルを接続します。
(線番号と線材色を間違えないように注意してください)
反対側のコネクタを本機のSP IN1,2コネクタに、SP IN(16芯-先バラ)ケーブルを接続します。
- ③CONT BUS B(50ピン)ケーブルで、出力制御ユニットWU-R51A(10局)、WU-R52A(20局)と本機または本機どうしを接続します。
(本機を複数台使用する場合)
- ④本機のSP OUT1、2コネクタとWU-Q55のT1~T4コネクタをSP OUT(16芯-16芯)ケーブルで接続します。スピーカ回線を接続します。(9ページ参照)

■後面コネクタの接続のしかた

記号の説明



PA1, PA2 …………… BGM放送専用電力増幅ユニットからの出力
 SP OUT …………… スピーカ出力
 SP IN …………… スピーカ入力
 PWR CONT IN …………… 電源制御入力
 PWR CONT OUT …………… 電源制御出力
 CONT BUS B (IN) …………… 増設ユニット接続入力
 CONT BUS B (OUT) …………… 増設ユニット接続出力

| 端子名 | | 接続先 | | | 接続ケーブル | | 注意 |
|-----|------------------|--------------------|---------------|----------|--------------|-----------------|----|
| 記号 | 内容 | 品番 | 記号 | 内容 | ケーブル長、芯数 | 備考 | |
| G1 | SP IN1 (SP1~5) | WU-R51A、R52Aスピーカ端子 | | | 2.1 m 16芯 | 本機に付属 | |
| G2 | SP OUT1 (SP1~5) | WU-Q55 | T1~T4のうちの空き端子 | | 2.1 m 16芯 | 本機に付属 | |
| G3 | SP IN2 (SP6~10) | WU-R51A、R52Aスピーカ端子 | | | 2.1 m 16芯 | 本機に付属 | |
| G4 | SP OUT2 (SP6~10) | WU-Q55 | T1~T4のうちの空き端子 | | 2.1 m 16芯 | 本機に付属 | |
| G5 | CONT BUS B (IN) | WU-R52A | Z2 | DATA BUS | 50ピンケーブル | 本機に付属 | 2 |
| G6 | CONT BUS B (OUT) | WU-R52A | Z1 | | | | |
| G7 | PWR CONT (IN) | WU-L60 A | C1 | 電源制御 | 2.1 m 9芯ケーブル | 工事部品 W4-9L/21PR | 1 |
| G8 | PWR CONT (OUT) | | C2 | | | | |
| G9 | PA1 | BGM放送専用電力増幅ユニット | A1 | PA OUT | 3 m 4芯 | 電力増幅ユニットに付属 | |
| G10 | PA2 | | | | | | |

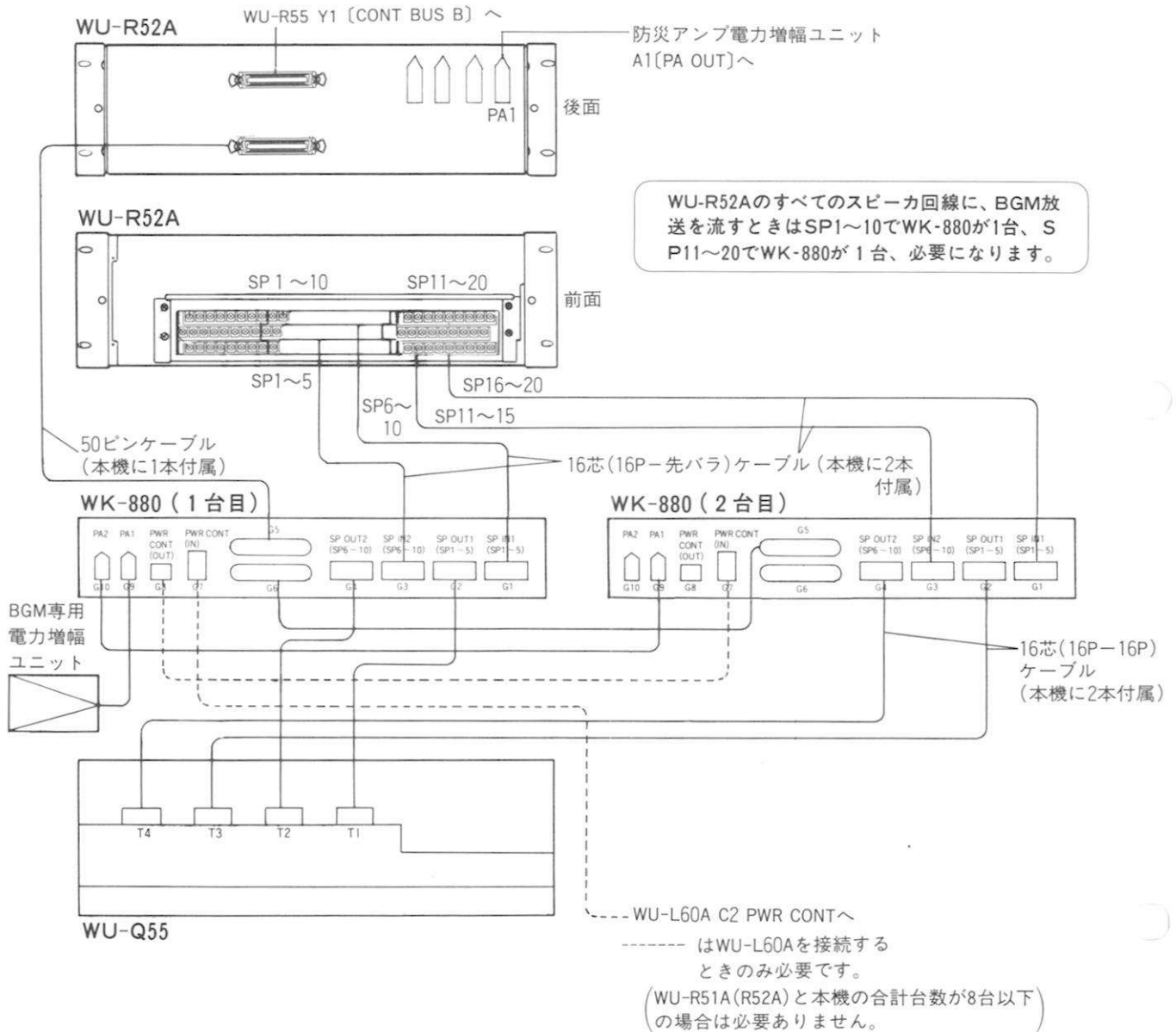
ご注意

1. 本機と出力制御ユニットの合計台数が8台を超える場合は、本機専用の電源制御ユニットWU-L60Aが別途必要になります。
 2. 付属の50ピンケーブル(2m)が短い場合は、工事部品W4-50L/50PP(5m)をご使用ください。
 ただし、使用可能本数は付属の50ピンケーブル(2m)は5本まで、W4-50L/50PP(5m)は2本までです。
- サービス点検を容易にするため、ケーブルは必ず付属のケーブル表示ラベルにコネクタ名を書き、巻きつけてください。

接続のしかた

■ケーブルの接続

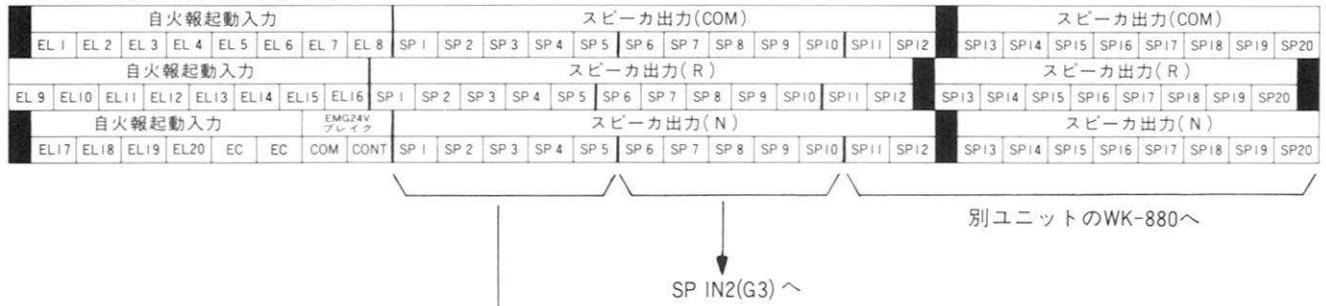
● SP IN(スピーカ入力)、SP OUT(スピーカ出力)の接続



- SP IN 1、2はそれぞれ5回線のスピーカライン(N、R、C)が接続可能です。
防災アンブシステム出力制御ユニットWU-R51A、R52Aのスピーカ回線端子を接続します。
- BGM放送を流すスピーカ回線の番号が1、2、3、6、11など飛んでいるものを1、2、3、4とまとめることはできません。
- この場合は、防災アンブシステムの書き込みによってあらかじめスピーカ回線をまとめておく必要があります。
- 出力制御ユニットWU-R51A、R52AとBGM放送モード選択ユニットWK-880(本機)の合計台数が、8台を越える場合は、電源制御ユニットWU-L60Aを1台増設する必要があります。

● 出力制御ユニットWU-R51A、R52Aの端子台の接続のしかた

WU-R51A(R52A)前面端子台



● 付属ケーブル(先バラ-16ピンコネクタ)の線番号と色

| 線番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 色 | 茶 | 赤 | 橙 | 黄 | 緑 | 青 | 紫 | 灰 | 白 | 黒 | 肌色 | ピンク | 空色 | 薄黄 | 黄緑 |
| WU-R52 端子台への接続 | SP 1 C | SP 1 R | SP 1 N | SP 2 C | SP 2 R | SP 2 N | SP 3 C | SP 3 R | SP 3 N | SP 4 C | SP 4 R | SP 4 N | SP 5 C | SP 5 R | SP 5 N |

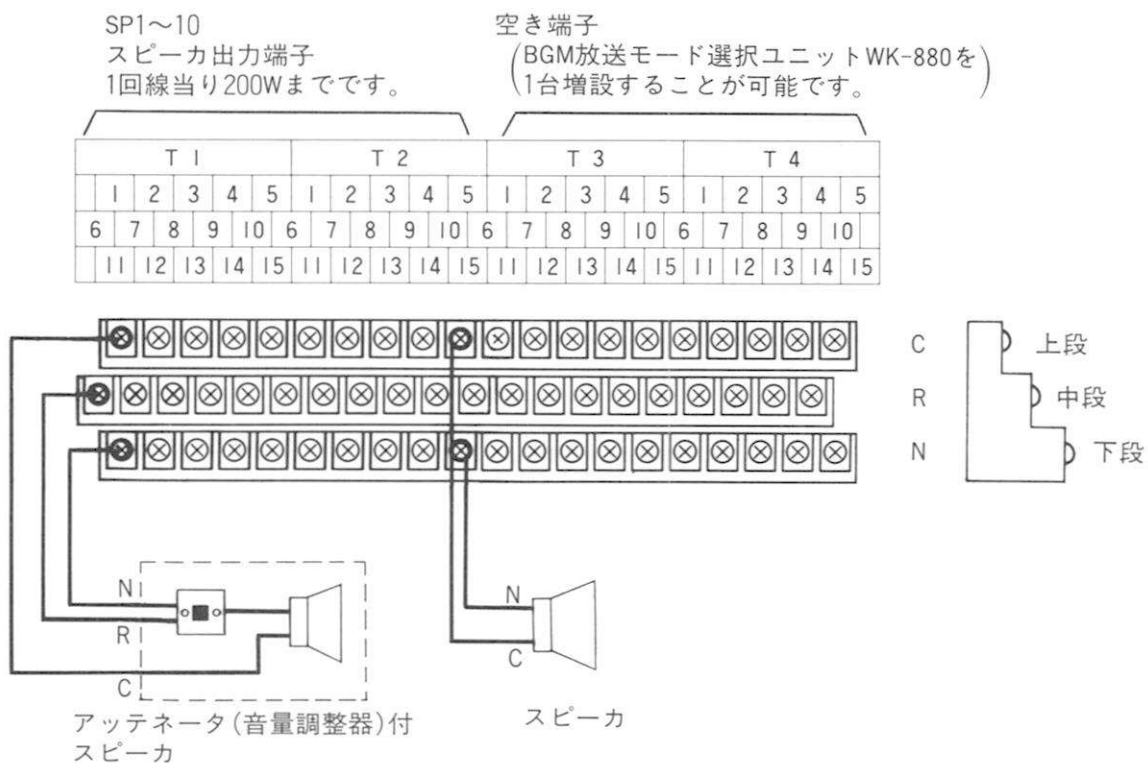
↓

WK-880
SP IN1(G1)へ

- SP6~10も同様の順番です。
- スピーカラインは3線式配線が基本になっています。2線式の配線をする場合には緊急ライン(R)は接続しなくてもかまいません。

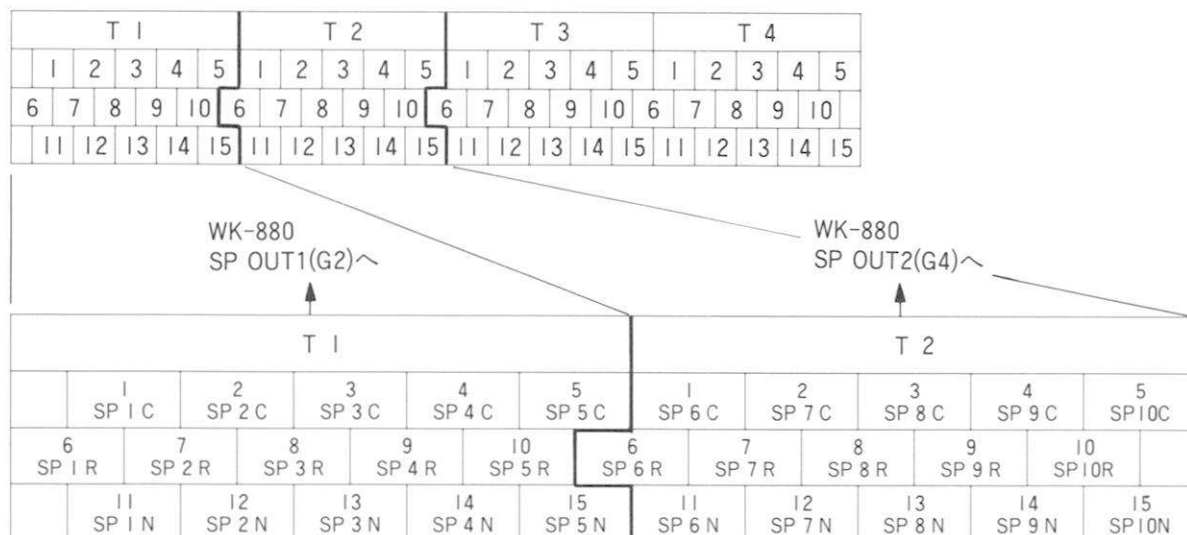
接続のしかた

■端子盤ユニットWU-Q55(別売品)の接続



●スピーカ出力端子名

WU-Q55端子台



定格・付属品

■定格

電 源：DC24V
消 費 電 流：最大490mA
スピーカ入力回線数：10回線
電力増幅ユニット
入力系統：2系統
電力増幅ユニット
1系統当りの最大W数：480W
スピーカ出力回線数：10回線

スピーカ1回線あたりの
最大W数：200W
合 計 最 大 W 数：960W
寸 法：480(幅)×44(高さ)×250(奥行)mm
1U
質 量 (重 量)：約2.8kg
仕 上 げ：パネル：AVアイボリー塗装鋼板
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

■付属品

16芯(16P-16P)接続ケーブル(約2.1m)…………… 2
16芯(16P-先バラ)接続ケーブル(約2.1m)…………… 2
ラック取付用リブ付ねじ(M5×12)…………… 2

表示シール…………… 3
ケーブル表示ラベル…………… 2
50芯ケーブル(約2m)…………… 1

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

| | | | | |
|---------------|---|---|---|------------|
| お 買 上 げ 年 月 日 | 年 | 月 | 日 | 品 番 WK-880 |
| 販 売 店 名 | | | | 電 話 () - |

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045) 932-1231 (大代表)

B1291-2105

A8QA2635CN